

北九州市立中尾小学校
学校だより
令和7年 10月7日号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標

すこやかに、 おおらかに、
たくましく伸びる児童の育成

「生命（いのち）の安全教育」について

日々の様々な教育活動を通じて、「生命（いのち）の安全教育」指導を行い、子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための教育を推進しています。

例えば、水泳学習前に1・2年生には、「プライベートゾーン」についての指導を養護教諭が行いました。また、夏休み明けには、養護教諭が中心となり各学年児童に生命（いのち）の安全教育を行いました。この取組の児童の感想等については既にプリントで配布されていると思います。さらに、9月17日には、「思春期健康教室」として助産婦さんから4年生へ母親の体内での赤ちゃんの成長の過程や自分がお母さんのおなかにいたときのことを振り返るなどの授業がありました。

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼすことから、その根絶に向けた取組を強化していく必要があります。具体的には、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解したうえで、生命を大切に考える考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付けることが重要になっています。

この「生命（いのち）の安全教育」が、子どもたちにとって、より効果的になされていくためには、学校だけではなく、各ご家庭においても様々な機会をとらえ進めていくことが必要です。

保護者のみなさまにおかれては、子どもの性暴力被害防止のため、「生命（いのち）の安全教育」について、ご理解とご協力をお願いいたします。そして添付しております資料をお読みいただき、子どもの性被害防止に役立てていただくと幸いです。

業務改善～教職員の働き方改革～について

子どもたちへのよりよい教育のためにさらなる学校へのご協力をお願い
～「すべての子どもたちへのよりよい教育の実現を目指して<添付資料>」～
今日、私たち教職員を取り巻く環境には、様々な課題があります。そのため、教師が子どもたちに向き合える時間が減少し、よりよい教育の実現の妨げとなっています。教師がもっと子どもたちと向き合うことができるよう、現在も様々な施策や取り組みがなされていますが、さらに取組を進めていくには地域や保護者のみなさまのご協力が不可欠です。よろしくお願いします。

ただ、まずは保護者の95%以上<学校評価アンケート結果より>の方が学校の業務改善にご理解をいただいているようです。ありがとうございます。

これからも、子どもたちへのより良い教育のために業務改善を進めていくうえ、さらなるご理解とご協力をいただければと思います。例えば以下のようなことです。

・学校運営に参画することについて

学校評価アンケートへのより多くの方の回答ありがとうございます。後期もアンケートを実施しますので、ご協力ください。

・教職員と保護者や地域の方との役割分担について

登下校の見守り、学校ボランティア等をお願いします。特に、運動会後のテント等の片づけは、毎年保護者の方にお手伝いいただいています。本年度も、ご協力をお願いします。

・学校行事や業務の見直しについて

今後の取組を進めていくうえで児童の下校時間(例:月に一回程度の給食後の下校の実施など)の変更をする予定です。ご理解とご協力をお願いします。

運 動 会 に む け て

今月には運動会の実施(詳細は後日お知らせします)をします。それに伴い、秋休み(10/14・15)の前後に運動会の練習を予定しています。暑い中での練習も予想されますので、子どもたちの健康管理等<早寝・早起き・朝ごはんなど>についてご理解とご協力をお願いします。また、体操服等の忘れ物がないよう、重ねてお願いします。